ハイオス「第5回エコプロアワード」奨励賞

ねじ締結システムで地球環境に貢献

表彰式に戸津社長出席

㈱ハイオス（東京都墨田区押上1―35―1。戸津勝行社長）では、弊紙第2593号既報の通り「第5回エコプロアワード」において奨励賞を受賞された。去る12月8日には、東京ビッグサイトで開催された「エコプロ2022」（会期…同月7日～9日）内特設ステージにおいて同アワードの表彰式が行われ、戸津社長などが出席し賞状が授与された。

「エコプロアワード」は、経済のグローバル化やパリ協定の発効、SDGsの制定など社会経済を取り巻く状況の変化を視野に入れ、日本市場において事業者、消費者、投資家、さらには市場関係者に評価が高く、具体的に優れた環境配慮が組み込まれた製品、サービス、技術、ソリューション、ビジネスモデルといった案件を表彰する事によって、これらの更なる開発・普及の促進を図り、持続可能な社会づくりに寄与する事を目的に表彰を行う制度。主催は一般社団法人サステナブル経営推進機構。後援には財務省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省。特別協力に日本経済新聞社。

エコプロアワード表彰式

左から戸津社長と石田理事長

同社の受賞名称は“製品ライフサイクル全体の環境負荷削減に貢献する「ねじ締結システム」”。その内訳は、オリジナルブランドとして展開中の電動ドライバーおよびHIOSブランドのPAT.ねじ類（トツプラねじ、インタトルク）。締結用工具からビット、ねじに至るまで消費電力やビット交換回数の削減などエコに繋がる製品開発を通じて、環境問題への対応を図ってきた取組みが評価された。

12月8日に東京ビッグサイト開催の「エコプロ2022」特設ステージで行われた「第5回エコプロアワード表彰式」に戸津社長が出席。

主催者の一般社団法人サステナブル経営推進機構・石田秀輝理事長より戸津社長へ賞状が授与された。

戸津社長は、エコに繋がる製品開発および今回の受賞を経て「1970年の創業当時、公害が注目されていた時代に企業が環境に取組む事例はまだ少なかったのですが、私は環境と省力化を視野に開発を行ってきました。十字ねじの締結には、推力（押す力）と回転する力が7：3の割合で必要であるとの法則がありますが、推力にエネルギーを使う事が自動ねじ締めラインでのロボットアームの大型化にも関係しています。当社製品のエコへの貢献は、この推力にかけるエネルギーに注目して開発したものであり、小さな部品ですが一つ一つの積み重ねで、ねじでも地球環境に貢献できるという事を知って頂きたいです。世界の人口八〇億人が地球の中で育っていくには資源に限界があり、消費社会でのモノを捨てていく時代から、エコという新しい時代を迎えていると感じます」とコメントを寄せる。

ハイオスのPAT．ねじ類

電動ドライバー